

友の会だより

No.58

2019.7

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

大人も子どもも楽しい かわいい陶とカッコいい焼

会期/令和元年7月20日(土)～8月25日(日)

主催/茨城県陶芸美術館 協賛/筑波銀行 特別協力/茨城県立笠間陶芸大学校

当館では、幅広い年齢層の方々に陶芸作品に親しんでもらうため、平成24年度より「大人も子どもも楽しめる」というコンセプトの展覧会を開催しています。5回目となる本年は、当館のコレクションを中心に、「かわいい」作品、「カッコいい」作品を選びすぎて紹介します。

絵画や彫刻に比べて、陶芸作品は見方がわからず難しく感じられるかもしれません。しかし、可塑性に富んだ土で自在に成形され、多様な色や質感の釉薬をまとった陶磁器の世界は、驚くほど豊かで魅力にみちたものです。そこで、本展では「かわいい」「カッコいい」といった印象を切り口にして、色、模様、大きさ、形といった視点で陶磁器の世界をご案内いたします。その範囲は、ポップな模様やシャープなかたちの器から、迫力満点の巨大なオブジェにまで多岐にわたります。かわいくてカッコいい、個性豊かな作品たちの競演をぜひお楽しみください。



滋賀県立信楽窯業試験場・八木一夫デザイン 寅
1961年 当館蔵



中田博士 cera debris
2006年 当館蔵



水元かよこ うさみみPOP
2016年 当館蔵



ルーシー・リー 茶釉手付注器
1955年頃 当館蔵
Estate of the Artist

● 展覧会関連催事のご案内

* 詳細は、チラシや当館ホームページ等をご覧ください。

● 親子で楽しむギャラリートーク「かわいいもの・カッコいいものソムリエ」

やきものソムリエの学芸員が、お客さまのお気に入りの作品を探してお手伝いをします。

日時：7月27日(土)・8月4日(日)・8月12日(月) 13:30～ 場所：当館地下1階 企画展示室 予約：不要

参加費：無料、ただし展覧会チケットは別途必要

● 手作り掛け物で楽しむ茶会

参加者全員で描く絵を掛け物にして飾り、お茶とお菓子を気軽に楽しみいただきます。

講師：海老澤宗香氏 日時：8月18日(日) 一席目 10:00～/二席目 11:00～/三席目 13:00～/四席目 14:00～/五席目 15:00～

場所：当館地下1階 オープンギャラリ 予約：電話またはFAXで事前申込(先着順) 7月2日(火) 9:30より予約受付開始

※空席がある場合は当日参加もできます 参加費：500円 定員：各席10名

展示
案内

茨城県陶芸美術館コレクション 新収蔵品展

第1会場 6月4日(火)～10月6日(日)

第1展示室

第2会場 6月5日(水)～9月1日(日)

第2展示室

茨城県陶芸美術館では2018年度に21作家による55件の作品を新たに収蔵しました。

まとまったコレクションとしては、炭化焼成によるグラデーションの表現で知られる小野寺玄の作品20点と、幻想的な造形作品を生み出し続ける久米みどりの作品12点を収蔵しました。重要無形文化財(通称：人間国宝)では、2017年に小石原焼の技法で認定を受けた福島善三や備前焼の藤原雄の作品を収蔵、また、造形作家では今野朋子の第9回国際陶磁器展美濃陶芸部門銅賞作も加わりました。

今回の展示では、これらの新収蔵品を第1展示室と第2展示室の2つの会場に分けてご紹介いたします。



福島善三 中野月白瓷鉢
2017年



今野朋子 Creatur[core]
2011年

茨城県陶芸美術館ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

民話や伝説の世界を形（形象化）にする

高橋協子さんを訪ねて(5月10日)

笠間市上郷の山間に民話や伝説の生き物をモチーフに制作活動をしている高橋協子さんを訪ね作陶のお話をお聞きしました。



出身とお生まれは

1970年 神奈川県茅ヶ崎市に生まれました。

焼き物に進まれた経緯をお聞かせください。

小さな頃から工作をしたり、紙粘土細工をしたりすることが好きでした。高校の部活動で縄文土器を作り、野焼きを通じて土が焼物へと変化していく面白さを知りました。その後大学の陶芸サークルで焼物を続けました。その活動のなかで笠間を知り、益子と笠間を取り上げた雑誌から薪窯で作陶をする堤綾子さんを知り、その縄文土器を彷彿とさせる造形に惹かれて笠間に来ました。三年間の内弟子生活を経て、黒田隆、矢崎春美、外山亜基雄各氏に器づくりを学び、アルバイトをしながら自分の方向性を探っておりました。

民話や伝説の陶人形を作るきっかけは

民話語りをする友人の手伝いをするなかで、那珂市に伝わる「四匹の狐」という民話を知りました。それは笠間稲荷の紋三郎狐を含む四匹の狐兄弟が茨城の川、野、山、海を守っているというお話でした。それを聞いて初めてその話を作品にしてみたいと思いました。その後、たくさんの民話が茨城にあることを知り、私なりのやり方でもっとこの民話を知ってもらいたい、と思うようになりました。民話、伝説をテーマに展覧会を重ねていくなかで、民俗、歴史にも深く思いを寄せるようになり、器づくりのかたわら、ライフワークとして地元の皆さんから郷土について教えていただきながら茨城を中心にした民話伝説をテーマにした作品作りに取り組んでいます。

これからの抱負などは

茨城各地の民話伝説を作品化していくこと、作品を通して日本の文化や面白さを表現していくことが夢です。

プロフィール

- 1988年 神奈川県立弥栄東高校美術コース卒業
- 1991年 武蔵美術短期大学 工芸デザイン科木工専攻卒業 同校陶芸サークル、窯工研究会で陶芸を始める。民族資料室手伝いを通して身近な工芸に対する興味を深める
- 1991年 笠間焼 堤綾子氏に師事
- 1993年 千葉市立加曽利貝塚土器作り同好会で土器作りを学ぶ
- 1994年 黒田隆、矢崎晴美、外山亜基雄各氏に学ぶ
- 1996年 笠間市大橋にて独立
- 1998年 笠間市安居に築窯
- 2003年 笠間市泉に つばめ窯開窯
- 2008年 笠間市上郷に移転、築窯 この頃より民話、伝説にまつわる陶人形を作り始める

対談を終えて

仕事場の裏に小さな丘陵がある。色とりどりのツツジが咲いて杉林に繋がっている。夜になるとあの林から高橋さんの仕事場にいろんなものがやって来て、さぞ賑やかなのかなと展示されている陶人形を見ながらそんなことが浮かんだ。



華蔵院の猫



狐の塚入り

友の会からの お知らせ

6月14日（金）に、理事会・代議員会を開催し、平成30年度の事業報告・収支決算が承認されるとともに、令和元年度の事業計画と収支予算が決まりました。各事業への多くの参加をお待ちしています。

平成30年度事業報告

●会報「友の会だより」の発行 第55, 56, 57号発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：7月24日（火）7月29日（日）
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
参 加 者：15人

●陶芸教室

期 日：9月6日（木）
講 師：酒井芳樹 先生
参 加 者：5人

●笠間工芸の丘各種体験：割引参加（通年）

まぐ

●各企画展・特別展開催中に実施する講演会に参加した会員への記念グッズの贈呈

みる

●国内研修視察

期 日：12月1日（土）～12月6日（木）
視 察 先：タイ「タイの焼き物を訪ねる」
バンコク チェンマイ チェンライ スコータイ
参 加 者：13人（会員12 事務局1）

●日帰り研修

期 日：3月10日（日）
視 察 先：三溪園 横浜ユーラシア文化館
参 加 者：25人（会員22 非会員2 事務局1）

呈茶会

●企画関連茶会

期 日：11月13日（火）茨城県民の日
席 主：原田勝子（表千家）
参 加 者：82人（呈茶券購入者）

令和元年度事業計画

●会報「友の会だより」の発行 第58, 59, 60号発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：7月14日（日）7月26日（金）
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
場 所：陶芸美術館研修室
募集人数：16人

●笠間工芸の丘の各種体験への会員割引参加（通年）

まぐ

●各企画展・特別展開催中に実施する講演会に参加した会員への記念グッズの贈呈

みる

●国内研修視察

期 日：12月1日（日）～12月3日（火）
視 察 先：鹿児島県「薩摩焼を訪ねる」
募集人数：25人

●日帰り研修

期 日：3月に実施予定
視 察 先：鎌倉方面
参 加 費：10,000円程度
募集人数：40人
旅行会社：笠間観光協会

呈茶会

●企画関連茶会

期 日：11月13日（水）茨城県民の日
席 主：原田勝子（表千家）
会 場：陶芸美術館地下オープンスペース

友の会 トピックス

平成30年度日帰り研修視察報告 「三溪園」と「横浜ユーラシア文化館」を訪ねる

研修日：平成31年3月10日（日）



平成30年度友の会主催の日帰り研修視察を実施しました。最初に、『三溪園』を訪ねました。ボランティアガイドさんに案内され、梅の花が咲く手入れされた広大な庭園を散策しました。

昼食は、横浜中華街でテーブルを囲んで美味しい中華を楽しみました。

『横浜ユーラシア文化館』は早稲田大学會津八一記念館開館20周年・横浜ユーラシア文化館開館15周年記念企画「博士の愛した中国陶磁 美と技の5000年」が開催されていました。

書家にして歌人、美術史の研究者である會津八一と東洋史学者の江上波夫の中国陶器のコレクションに富岡重憲コレクションの名品を加えて展示されていました。江上波夫博士のご子息夫妻様にご案内頂き、陶器の美しさと博士のユーラシアへの熱い思いを感じることができました。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

- アトリエ・フラスカ 0296-72-9322
- 笠間工芸の丘 0296-70-1313
- 7月10日(水)～7月21日(日)
植山英男作陶展 クラフトギャラリーⅡ
- 7月24日(水)～8月 4日(日)
谷口将海作陶展 クラフトギャラリーⅡ
- 8月 7日(水)～8月18日(日)
沼野秀章 酒の器展 クラフトギャラリーⅡ
- 8月21日(水)～9月 8日(日)
食卓の情景(展) クラフトギャラリーⅡ
- 9月11日(水)～9月23日(月)
いやしの灯と食卓をいろどる器達Ⅲ クラフトギャラリーⅠ
- 9月11日(水)～9月23日(月)
森羅万象展 クラフトギャラリーⅡ
- 9月26日(木)～10月6日(日)
gathering クラフトギャラリーⅠ
- 9月26日(木)～10月6日(日)
エダマメWORKS企画 大宇宙展 クラフトギャラリーⅡ
- 笠間民芸 0296-72-9280
- かつら陶芸 0296-72-6688
- ギャラリー桜 0296-72-0803
- ギャラリー爽風SOHO 0296-72-9121
- ギャラリー舞台 0296-73-0700
- 7月 6日(土)～7月21日(日)
生類あふれみの舞台 松本良太×森恭 二人展
- 8月 3日(土)～8月18日(日)
cocktail drops 金澤シュウ×坂本新 二人展
- 共販センター 0296-72-5665
- きらら館 0296-72-3109

- 7月 2日(火)～7月15日(月)
外山亜基雄・高橋協子 二人展
- 7月17日(水)～7月28日(日)
野村晃子・内藤加奈子 二人展
- 7月31日(水)～8月18日(日) 第15回 ねこ展
- 8月21日(水)～9月 1日(日)
手吹きガラス工房 透きや 徳永隆治
- 9月 3日(火)～9月16日(月) 田山建司「陶鳥と器」
- グランパとグランマのお店 0296-71-8077
- 向山窯 0296-72-0194
- 丹野陶房 0296-72-4028
- 陶芸館 0296-72-6650
- 陶正 0296-72-4007
- 東風舎 0296-72-5205
- 無限堂 0296-72-1695
- やまさき陶苑 0296-72-6865
- 涼 0296-72-0712
- ミュージアムショップ(館内) 0296-72-7105
- 7月20日(土)～ 8月25日(日)
「大人も子どもも楽しいかわいい陶とカッコいい焼」関連商品販売
- 9月 7日(土)～11月24日(日)
「いきもの狂騒曲ー陶芸フィギアの現在」関連商品販売
- レストラン「風の丘」(館内) 0296-72-0197

各店舗で買い物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。
グランパとグランマのお店は、食事セットメニューが5%引き、レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

編集後記



高橋協子氏の住まい兼アトリエは笠間市上郷の緑あふれる環境にあり、初夏の気持ち良い風を受けつつお話をうかがいました。対談終了後には歩いてすぐの滝入不動尊にも案内いただき、心が洗われた一日でした。写真は高橋協子氏(中央)を囲んで今年度の編集委員4名です。(福家 佳奈 記)

友の会だより No.58

発行：令和元年7月1日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小栗 和子 福家 佳奈 久野 守代
鈴木 充